

わたしたちの物語 〈忘れられない過去〉

田口佳代子さん(88歳) &

大正大学社会福祉学科 渡部颯大さん

わたしはね、子どもの頃は上海にいたんですよ。

父の仕事の関係でね。

えっとね、小学校は向こうから入ったんですよ。

小学校1年生のときから。

それで学校に通うとき、歩いていくとさらわれちゃうんですよ。

日本人は頭がいいから。

だから学校はトラックに乗っていったんですよ。

帰りは門番のおじさんみたいなのが迎えにきてくれるんですけどね、

あるとき来ないんですよ。

それで男の子2人と私合わせて3人いて、

浅草で走っているような人力車で帰ったんですよ。

よくさらわれなかったねって言われます。

中学高校はいじめとかの関係で富士にいたんですよ。

景色いいところだったけどね、好きじゃなかったですね。



高校のときはバスケやってたんですよ。

部活だったんですけどね、学校に泊まったりしたんですよ。

今はやらないですけどね、うさぎ跳びとかやりましたよ。

あれはきつかったですねー。

今のお家はもう30年、40年になりますね。

夫はね、体も悪かったし、あんまり働かない人だったもんですからね、

こつちの場所に引っ越して来たんですよ。

今すごい私好きなんですよ。

そこから奥まで見えて、景色がいいですからねー。

だからね終の棲家です。

娘はお家を掃除することが好きじゃないので

汚いままでもいいやって思ってたね、

私が死んだらなんとかするみたいです。

ふふふつ。

